

# 県政だより みえ

三重県の県政情報をお届けします

# 10

平成29年(2017)

No.399

○広報紙  
毎月1日発行  
○データ放送  
毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

- 特集 1 グローカル人材の育成
- 特集 2 三重の偉人「本居宣長」  
もとおりのりなが
- 特集 3 三重県救急医療情報センター  
コールセンター

知事が行く!  
突撃取材!

～相談者の心に寄り添い支える～

自分の経験を  
生かした難病支援



## グローバル<sup>\*</sup>人材が 三重の未来を開く

\*グローバルは、グローバル(国際的な)とローカル(地域的な)を掛け合わせた言葉です。



県内に本社を置く企業のベトナム工場で  
高校生がインターンシップ(就業体験)

G7 伊勢志摩サミット  
配偶者プログラム昼食会

三重の高校生サミット

第10回国際地学オリンピック

2016年ジュニア・サミット in 三重



2016年4月



2016年5月



2016年6月



2016年8月

### 県内の高校生が 世界の舞台で活躍

「伊勢志摩サミット」および「2016年ジュニア・サミットin三重」を契機に、県では、「三重の高校生サミット」や「第10回国際地学オリンピック日本大会」などが開催され、県内の高校生が世界の舞台で活躍する機運が高まりました。伊勢志摩サミットの成果を次世代へ継承し、予測困難な変化の激しい社会の中で、将来自立し主体的に社会に関わり、グローバルに活躍できる力の育成に取り組んでいます。

# 未来を担う「人づくり」 グローバル人材の育成

社会のグローバル化が進む中、世界ではもちろんのこと、地域にあっても、国際的な視野を持つことが求められています。県では、未来を担う高校生の皆さんが、国際感覚を養い、郷土に対する愛着や誇りを持って国内外で活躍できるように、国際交流活動の充実や異文化理解、地域の魅力の再発見など、さまざまな学びの場づくりを行っています。

「グローバル人材」とは、国際的な視野で考えながら自分の地域で活躍できる人、または地域や異文化に深い理解を持ちながら国際的な活動ができる人

## グローバルな視野を持って、自ら行動する力を育む

### みえ未来人育成塾

6月に津市の三重県総合文化センターに県内の高校生たちが集い、「一人ひとりがよい社会と幸福な人生の創り手となるため」をテーマに意見交換を行いました。グローバルな視野を持って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むためのワークショップ等を通して、刻々と変化する社会情勢を受け止め、自分らしく生きるために大切なことを考えました。



6月に津市の三重県総合文化センターに県内の高校生たちが集い、「一人ひとりがよい社会と幸福な人生の創り手となるため」をテーマに意見交換を行いました。グローバルな視野を持って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むためのワークショップ等を通して、刻々と変化する社会情勢を受け止め、自分らしく生きるために大切なことを考えました。

## 県内の地域医療の担い手を育成

### 医学部進学セミナー

7月と8月に医学部医学科への進学をめざす高校生たちが熊野市と南伊勢町にある地域医療の現場を訪問し、その現状と重要性を学ぶセミナーを開催。地域医療を支える医師との交流等を通して医師としての仕事のやりがいや責任を学ぶ機会となりました。



## 国際的な感覚と広い視野を養う

### 「工業高校生」海外インターンシップ



8月に工業学科で学ぶ高校生9人が、ベトナムにある県内企業の工場実習等を行う海外インターンシップを実施。現地スタンプとの交流や就業体験を通して世界に挑戦する気持ちを養い、地元企業への誇りを高める機会となりました。

## 将来の夢や進路を考えるきっかけの場へ

### 「しごと密着体験



8月にしごと密着体験の一つとして、県教育委員会において11人の高校生が、働く人に密着し、仕事内容や仕事に対する姿勢等の観察を通して、「働くこと」について深く考える就業体験を行いました。

# 夢が広がる！ 県内高校生の学びの場

「三重県教育ビジョン」(計画期間:平成31年度まで)では、三重の教育のめざす姿とその実現に向けた取り組みを示しています。ビジョンに基づき、子どもたちが異文化理解の精神や豊かな語学力を養うなどグローバル人材の育成に向けた取り組みを進めています。

県内高校生たちが学びの成果を発表！  
高校ごとに特色ある作品や発表は見逃せません。

## 高校生フェスティバル

開催：10月27日(金)～29日(日)  
場所：三重県総合文化センター  
(津市一身田上津部田1234番地)

公立の高校、特別支援学校、高等専門学校などの3,000人を超える生徒が参加する成果発表のイベント。専門学科(農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉)と総合学科・特別支援学校の生徒による実習作品の展示・実演・販売、文化系クラブの作品展示、舞台発表、定時制・通信制生徒の生活体験発表などを行います。

期間中は、次の成果発表イベントを行います。

- 第27回三重県立高等学校産業教育フェア
  - 第38回みえ高文祭
  - 第60回三重県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
  - 第25回三重県高等学校定時制通信制生徒文化作品展
  - 人権まなびの発表会
  - 第11回高校生フォーラム
  - 平成29年度高校紹介ひろば
- ※10月28日(土)、29日(日)は、津駅西口から無料シャトルバスを運行します。  
※詳しいスケジュールはお問い合わせください。



みえ高文祭での作品展示の様子  
第26回産業教育フェアでの衛生看護科生徒による身体計測(血圧など)

高校生たちは、学校や家庭だけでなく、企業でのインターンシップや地域の皆さんとの交流など、さまざまな場での学びを通して将来の夢を育みます。皆さんも三重の未来を担う高校生たちの可能性を広げる学びの場づくりにご協力をお願いします。

※10月20日(金) 22時15分から 三重テレビ「県政チャンネル」輝け！三重人」で、この内容について放送します。

問い合わせ先/教育委員会事務局 高校教育課  
☎ 059・224・3002 FAX 059・224・3023 ✉ kokakyo@pref.mie.jp

# 日本人とは何かを探究した三重の偉人 本居宣長

三重県を代表する偉人の一人である江戸時代の国学者、本居宣長。県では、宣長に関する資料や宣長を魅了した古典の世界を知ること、県民の皆さんが郷土の魅力を再発見する機会づくりを進めています。

注目が集まる宣長とは  
宣長は35年の歳月をかけて日本最古の歴史書「古事記」を研究するなど、日本古典の中から日本人本来の世界観や価値観を探求しました。17歳の時に日本地図を描くなど、今でいう高校生の頃から「日本とは何だろうか」という思いを抱いていたと考えられます。また、世界にも強い関心を抱いており当時の世界地図も所有していました。

ふるさと松坂(現松阪市)で町医者として活躍しながら、常に日本や世界を意識する視点をもっていた宣長は、まさにグローバルな人物だったと言えます。「日本人とは何か」、「世界に伝えたい三重の魅力は何か」、宣長の魅力に触れながら考えてみませんか。



本居宣長 六十一歳自画像  
本居宣長記念館蔵  
古事記伝 再稿本  
本居宣長記念館蔵  
17歳の宣長が手書きした日本地図。宣長は、江戸時代に松坂という地方の小都市に生え、日本・世界を見つめていた。宣長の文字にも驚かされます。

宣長をテーマにした催しを開催します。ぜひお越しください。

宣長をテーマに三重の魅力を追う  
**宣長サミット**  
日時：10月14日(土) 13時15分～15時50分  
場所：三重県総合文化センター 多目的ホール  
(津市一身田上津部田1234番地)  
内容：基調講演「現代に生きる宣長  
—伊勢志摩サミットのレガシーとして—」  
講師：(一財)日本総合研究所会長 寺島 美郎 さん  
パネルディスカッション ほか

宣長の探求した日本人の心、日本人の美意識とは!?  
**県立美術館開館35周年記念Ⅲ  
本居宣長展**  
期間：9月30日(土)～11月26日(日)  
料金：一般1,000円、学生800円、高校生以下無料  
宣長が遺した自筆史料、著書、関連作品、遺愛品などの幅広い資料を通して、宣長の生涯や宣長の求めた美、その幅広い交友関係を探ります。  
問い合わせ先/三重県立美術館(津市大谷町11番地)  
☎059・227・2100

三重県インターネット放送局「県政チャンネル」本居宣長にまなぶ!においてYouTubeでも配信。

問い合わせ先/環境生活部 文化振興課  
☎059・224・2233 FAX 059・224・2408  
✉ bunka@pref.mie.jp

# 三重県救急医療情報センター コールセンターを「保存」してください

## 保存用

救急車を呼ぶほどではない病気やケガなどのとき、三重県救急医療情報センターにあるコールセンターでは、診療が受けられる医療機関を24時間365日案内しています。三重県ホームページ「医療ネットみえ」からも「今、診てもらえる医療機関」や近くの医療機関を検索できます。

パソコン・スマートフォン・携帯電話で確認  
医療ネットみえ 検索

1 まず、かかりつけ医に連絡を

2 次に、休日・夜間 応急診療所などに連絡を

3 三重県救急医療情報センター コールセンターに連絡を  
☎059・229・1199  
2017年10月1日0時から

電話番号が10月1日から県内統一番号に変わります。

救急車は重い病気やケガの方を一刻も早く医療機関へ搬送するための救急車両です。適切な利用を心がけましょう。  
※自分や家族の持病、かかりつけ医、普段飲んでいる薬、医師の指示などの情報を日頃からまとめておくことで、救急車が到着した時、適切な診断を受けるために必要な情報を伝えることができます。

夜間・休日に病気やケガで治療を受けたい時は!

緊急時は119番へ

夜間に子どもが急な病気になった時は!

「みえ子ども医療ダイヤル」では、医療関係の専門相談員が電話相談に応じます。(19時30分～翌朝8時)  
◆電話番号 #8000  
◆ダイヤル式、IP電話など、#8000 が使えない場合  
☎059・232・9955

問い合わせ先/健康福祉部 医療対策局 地域医療推進課 ☎059・224・3370 FAX 059・224・2340 ✉ chiryo@pref.mie.jp  
(公財)三重県救急医療情報センター ☎059・227・3799 FAX 059・228・3799 ✉ qqcenter@qq.pref.mie.jp



第19回

～相談者の心に寄り添い支える～

# 自分の経験を生かした難病支援

## 難病患者の就労をサポート

皆さんは難病患者の方や、そのご家族を支援する三重県難病相談支援センター（津市）をご存じですか。今回はセンターで就労相談に携わるイスラム樹さんを訪ねました。センターでは就労支援や治療の受け方の助言などを行っており、昨年度は約1,700件の相談を受け、そのうち就労に関する相談が約30%と最も多かったそうです。「難病患者は外見が健常者と変わらない場合もあり、周りの方に理解してもらえず、悩んで退職される方が多い。退職してしまうと、次の仕事を見つけるのが困難になるので継続して就労できるようにサポートしています」とイスラム樹さん。また、所長の河原洋紀さんは「難病患者は、通院や適度な休憩など職場での配慮があれば働くことができます。トイレの回数が多かったり、薬を飲まないと言えなかったりすることを理解してほしい」と話されました。



仕事をされています。河原所長は「私たちは、難病を持つ同じ立場から相談をお聞きし、相談者の心に寄り添うピアサポート（同じ立場での支援）を心掛けています。何よりも、自分一人だけではないことを実感してほしい」と思いを語ってくれました。

最後に、難病と向き合いながら仕事を続けるために大切なことをイスラム樹さんに尋ねると「無理をしないこと。また、明日の体調は分からないので、今日できることをその日のうちに済ませるようにしています」「病気になったことで自分と向き合う時間が増え、周りのサポートに感謝できるようになり、何があっても次があると思える前向きな気持ちが養われました」と話してくださいました。とても勇気が出るお話ですね。



県では、「障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現」をめざしています。誰もが将来に夢と希望が持てるよう、お互いに配慮することの大切さを感じた取材でした。

取材/知事 鈴木英敏



心の内を打ち明けられる場へ



難病「全身性エリテマトーデス」と向き合ってきた経験を生かし相談を受けているイスラム樹さん。皆さんが自分らしく生活できるように支援することを心掛けています。

三重県難病相談支援センター  
相談受付：月～金曜日 9時～16時  
※祝日は除く  
☎059・223・5035



全盲の河原所長は音声パソコンを使い、センターの広報紙を作成。視覚障がいのある方も事務職などに就業が可能と云います。



将来、役立ててもらえるよう看護学生を対象としたサマースクールで、難病の講義をしています。

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。[県政だより みえ](#) [Q検索](#)
- 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ～輝け! 三重人～」で10月13日(金)22時15分から放送します。
- 三重県インターネット放送局「知事突撃取材」でYouTubeでも配信。

問い合わせ先 戦略企画部 広聴広報課 ☎059・224・2788 ☎059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp

## 同じ立場で難病患者の心に寄り添う

実はイスラム樹さんと河原所長も難病を持ちながら

いつでも便利! 操作は簡単!

三重県データ放送

暮らしの便利帳

イベントなどの最新情報はデータ放送で!!

三重テレビ7チャンネル「d」ボタン  
毎週木曜日更新



三重県データ放送から「県広報/県議会広報」について紹介します。

注目! 手話・字幕付き  
三重テレビ7チャンネル 金曜日22時15分～

三重県広報番組「県政チャンネル～輝け! 三重人～」番組予告を掲載しています。<第5週は放送なし>

- 第1週 もっと安全・ほっと安心
- 第2週 知事が行く! 突撃取材!
- 第3週 現場に聞こう!
- 第4週 みえの魅力発信/県民のチカラ

広聴広報課 ☎059・224・2788 三重県インターネット放送局 [Q検索](#)

注目! 「みえ現場de県議会」  
～今年度は11月以降に2回開催予定～

県議会では県民の皆さんの意見を議会での議論に活用するため、テーマごとに県議会議員との意見交換に参加していただける方を募集します。

開催が近づきましたらデータ放送「暮らしの便利帳」や県議会ホームページ等でご案内しますのでご覧ください。

三重県議会事務局 企画法務課  
☎059・224・2877 ☎059・229・1931

[三重県議会](#) [Q検索](#)

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。 [県政だより みえ](#) [Q検索](#)

編集・発行/三重県広聴広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。  
〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課  
☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

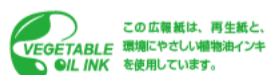
三重県の人口・世帯数 人口/1,799,278人(男性:876,408人 女性:922,870人) 世帯数/730,313世帯 平成29年8月1日現在



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。



三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。



この広報紙は、再生紙と環境にやさしい植物油インクを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

家族葬から社葬まで、事前の相談も至急の依頼も

**24時間365日受付中**

株式会社 ふじや本店  
**光倫会館**

経済産業大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会所属  
KKR 国家公務員共済組合連合会 特約店

**☎0120-114248**

～掛け金不要! 会員制度「心の会」は入会金5千円のみ 会員様募集中～

葬儀祭壇基本価格 <b>10%割引</b>	光倫会館使用料 <b>全額無料</b>	光倫会館安置室使用料 <b>1日分無料</b>	専用寝台車基本料金 <b>1台分当社負担</b>
--------------------------	------------------------	----------------------------	-----------------------------

■本社/四日市光倫会館 〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015 ☎059-351-1151

■富田光倫会館 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7 ☎059-361-2481

■光倫会館 桜ホール 〒512-1211 四日市市桜町6613 ☎059-325-2482

■津光倫会館 〒514-0054 津市朝所町47-3 ☎059-228-1151

あんしん++  
インプラント

**入れ歯やブリッジ、歯でお困りの方必読!**

**インプラントのことよくわかった!**

※読んだ方の約92%が「とても参考になった」「参考になった」と回答 (2015年度弊社実施アンケート)

「インプラント」が詳しくわかるガイドブックを**無料進呈**

- 信頼できる歯科医院の選び方
- 知っておくべきインプラントの長所と短所
- 他では聞けないインプラント体験者の声...など、盛沢山!

お申込み実績 (2016年) **年間 34,553名**

無料資料は、今すぐこちらからお申し込みください!

**☎0120-418-460**  
受付時間 ▶ AM9:00～PM8:00(月～金)  
AM9:00～PM6:00(土・日)

日本インプラント株式会社  
〒600-8429 京都市下京区烏丸通五条上ル  
御供石町369 京都万寿寺ビル 8F